

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	複合構造工学	
科目基礎情報							
科目番号	0033			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	エコシステム工学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	山田 宰						
到達目標							
コンクリート構造物の耐力算定をすることができる。 合成桁の各種応力算定をすることができる。 RC断面の断面定数算定式が誘導できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
RC断面の断面定数算定式が誘導できる	RC断面の断面定数算定式が応用 できる。		RC断面の断面定数算定式が誘導 できる。		RC断面の断面定数算定式が誘導 できない。		
コンクリート構造物の耐力算定	コンクリート構造物の耐力算定で き応用することができる。		コンクリート構造物の耐力算定を することができる。		コンクリート構造物の耐力算定を することができない。		
合成桁の各種応力算定	合成桁の各種応力算定でき応用す ることができる。		合成桁の各種応力算定をすること ができる。		合成桁の各種応力算定をすること ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目は、民間企業での施工管理経験を持つ教員が担当し、コンクリート構造学、鋼構造学の知識を応用して、鋼およびコンクリートの複合構造について接合方法、応力伝達機構および耐力の算定方法を習得する。						
授業の進め方・方法	講義形式で授業を実施し、適宜、課題を与え提出させるが評価には加えない。						
注意点	試験は参考文献なしで行う。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバスの説明 コンクリート構造学		シラバスの説明 コンクリート構造学		
		2週	コンクリート構造学 応力とひずみ1		コンクリート構造学 応力とひずみが理解し説明できる。		
		3週	コンクリート構造学 応力とひずみ2		コンクリート構造学 応力とひずみが理解し説明できる。		
		4週	コンクリート構造学 断面定数1		鋼構造学 断面定数が理解できる。		
		5週	コンクリート構造学 断面定数2		鋼構造学 断面定数を理解し誘導できる。		
		6週	コンクリート構造学 断面定数3		鋼構造学 断面定数の算出式を導出し説明できる。		
		7週	コンクリート構造学 設計法1		コンクリート構造学 設計曲げモーメントが理解できる。		
		8週	コンクリート構造学 設計法2		コンクリート構造学 等価応力ブロックが説明できる。		
	2ndQ	9週	鋼構造学 合成桁		合成桁とは		
		10週	鋼構造学 合成桁		荷重強度と断面力		
		11週	鋼構造学 合成桁		断面定数の算出法		
		12週	鋼構造学 合成桁		応力の照査		
		13週	鋼構造学 合成桁		合成桁の問題点		
		14週	鋼構造学 合成桁 (設計1)		設計課題の実施		
		15週	期末試験		期末試験の実施		
		16週	鋼構造学 合成桁 (設計2)		設計課題の実施		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験			合計		
総合評価割合		100			100		
配点		100			100		